

台風・集中豪雨のときの行動マニュアル

1 避難情報が出た! すぐに避難開始!

ハザードマップを参考に川や山の近くなら早めに別の安全な場所に避難しましょう。
ただし、時間に余裕がなく、避難が難しい場合は建物の2階以上に一時避難することも考えましょう。

避難のポイント 出発前



運動靴を履きましょう。長靴は水が入ると動きづらくなるので避けましょう。裸足も厳禁です。



できるだけ**2人以上**で避難しましょう。はぐれないようお互いの身体をロープでつなぎましょう。



いざというときのために、**ホイッスル**を首から下げておきましょう。



自動車や自転車の使用は避けましょう。



道路に水が溜まっている時に**歩ける水深は膝ぐらい**まで、男性70cm、女性50cmが限界です。それ以上なら無理をしないで高いところで救助を待ちましょう。

避難のポイント 出発後[道路冠水時]



歩き慣れた道でも**道路の真ん中**を歩きましょう。



先頭の人**は長い棒を杖にし、水中のくぼみや溝を確かめながら**歩きましょう。



側溝、水路、マンホールに注意しましょう。特にマンホールはフタがとれている可能性があり危険です。



垂れ下がった**電線**には**近寄らない**ようにしましょう。



隣近所に声をかけて**助け合いながら避難**しましょう。歩行困難な人は背負います。ベビーバスを活用する方法もあります。

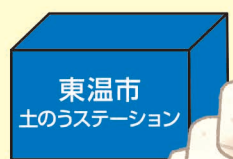
土のうステーションを設置しています

台風や大雨等の浸水被害に備えるため「土のうステーション」を設置しています。市民であればどなたでも利用できますが、土のうの作成や車への積み込みは各自で行ってください。(事業所向けには配布していません。)

ご利用の際は東温市消防署まで事前に連絡してください。

詳しくは東温市ホームページをご覧ください。

QRコードからアクセスしてください。



土のうの作り方▶

※令和7年3月時点の情報です。

2 こんなところで水が来た!

地震同様、場所によって行動の仕方が違うため、正しい対処ができるよう、基本的な行動を身に付けることが必要です。また、大雨が予想されるときは、できるだけ無理な外出を控えることも重要です。

地下室

地上が冠水すると一気に水が流れ込み、大変危険なため早めに避難しましょう。水が20cm溜まるとドアは開かなくなります。



アンダーパス(地下道)

鉄道や道路の下をくぐるアンダーパスは、路面が低く水がたまりやすいので、大雨の際はできるだけ通行を控えましょう。普段から「アンダーパスを回避するルート」を決めておくのが理想です。



川(キャンプ場など)

周りが急に暗くなったり、雷が聞こえたら、急激に増水したりする恐れがあるので川から離れましょう。川遊びに出かける際は、上流地域の天気予報もチェックしましょう。

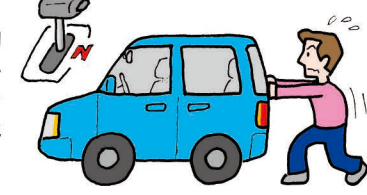


運転中

水深30cmでほとんどの車のエンジンは停止します。浸水や冠水などの危険を感じたら車を高台などに移動させましょう。水が引いても、むやみにエンジンをかけては危険です。エンジンの吸気系に水が入っていると、エンジン自体が壊れることもあります。



やむを得ず車を移動させるときは、シフトレバーをニュートラルにし、手で押して移動させましょう。



車に閉じ込められたら

シートベルトをはずし、窓を開けて脱出しましょう。仰向けになり、背中側から外に出るようにすると脱出しやすくなります。

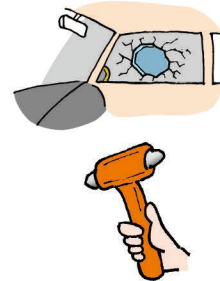


浸水が進み、窓からの脱出が困難なときは、車内の水面が胸か首にくるまで待ち、大きく息を吸い込んでからドアを開け、脱出します。

※ドアは車内外の水圧差が少なくなると開けられます。



どうしても窓が開かない場合は、「ガラス破碎ハンマー」などで窓を破り、脱出しましょう。シートベルトを切断するためのカッターが付いたハンマーも市販されています。



3 水害を最小限に抑える!

ハザードマップを参考に川や山の近くなら早めに別の安全な場所に避難しましょう。ただし、時間に余裕がなく、避難が難しい場合は建物の2階以上に一時避難することも考えましょう。その際は、家屋の入口などに土のうや水のうを置くことで、浸水を予防・軽減できます。

土のうの作り方



水のうの作り方

土のうや土がないときは、水を使う簡易水防(水のう)が有効です。ゴミ袋とダンボール、水があれば簡単に作ることができます。

①45ℓ程度のゴミ袋を二重にし、半分程度の水を入れる。
※ゴミ袋の強度が不足する場合は枚数を増やす。



②水のうを段ボール箱やプランターに入れ、レジャーシートで巻き込む。
※ポリタンクが複数あれば、ポリタンクに水を入れ、レジャーシートで巻き込むと早くできます。

